

地域密着型サービス 運営推進会議

事業所名称…まる福デイサービス

サービス種類…地域密着型通所介護事業所

会議開催日…令和 6 年 3 月 16 日（土）14:00～15:00（令和 5 年度第 2 回）

開催場所…まる福デイサービス

出席者

事業所	2 人	利用者	人
利用者家族	人	地域代表者	1 人
松江市職員	人	包括支援センター	1 人
知見を有する者（ ）	人	その他（ ）	人

事業所：管理者、介護職員

地域代表者、包括支援センター、利用者家族：自治会長、湖南包括支援センター

議題

1. 利用者状況等

- ・提供日時：月～金（祝日も稼働）9:20～16:25 定員人数：1 日 14 名（実績として 1 日 10 名平均）
- ・介護度状況（2/26 現在）：支援 1（0 名）支援 2（1 名）介護 1（7 名）介護 2（4 名）介護 3（8 名）介護 4（1 名）介護 5（3 名）変更申請中（0 名）

平均介護度は、2.2 前後となっています。

長距離の移動は歩行者・車イス対応の方が増えてきています。

2. 今抱えている、まる福での問題

- ・新型コロナウイルスやインフルエンザ等感染症の動向
引き続きスタッフや利用者の手洗い・手指消毒、換気、3 密の回避等の徹底
- ・入浴希望、または状況により入浴の必要性が高い方の増加
利用者に了解を得た上で、早めの入浴開始や順番の調整等で対応しています（場合によっては、午後から入浴施行）。

3. 利用時の行事等

○レクリエーション・リハビリに関して

残っている能力を使い、負荷を掛け現在の能力を維持することが目的です。

使用する道具によっては、スタッフと共同作業で作成から参加していただいています。

- ・新たに作業療法的な道具が追加されました。
- ・季節に合わせた行事や外出を行っています。行事は企画から利用者に関わって頂き、利用者

主体で実施しています。利用される方の当日の体調、天気等を考慮し、当日に何をするか決めています。

・調理レクとして、ぜんざい・やきいも・みそ作り等を行いました。

4. その他質疑応答

Q：まる福は認知症の利用者が多い？認知症は何歳くらいから発症するものか？

A：認知症の方がほとんどである。50代～60代で発症する若年性認知症の方もおられた。かえって若い方のほうが病名がつくと進行が速いケースが多い。

Q：要支援の受入れ状況は？

A：介護度による区別はないが、2～3名程度が現状である。要介護の方とそこまで介護量は変わらないことや、利用料の観点から経営として成り立たないため人数調整している。

その他

- ・コロナウィルス流行におけるサービス利用時の様子や地域の高齢化に関する話題が出る。
- ・来年度からの事業継続計画開始に伴い、災害時等の地域との連携を共通認識として捉えることを話し合う。

※事業所確認欄

☒ 活動報告についての評価を受けることができたか。	
☒ 要望・助言等受ける機会を設けたか。	

次回の運営推進会議予定日は令和6年 9月 日（ ） 時とする